

【豊かな心の育成について】

本校では、入学式、卒業式、運動会、桜祭(音楽会)など、多くの教育活動において異学年交流活動を原則とし、積極的に導入しています。年齢の下の児童が上級生の立ち振る舞いから、「自分もかくありたい」という理想像を構築し、自らを成長させていく姿が見られます。また、上級生の穏やかに抑制された、大人としての心構えや実践力も期待できるようになりました。こうした環境が、和やかな校風を生み、人間関係が豊かになり、優しく豊かな心の育成につながっています。



1年生と7年生の入学式

【校内研究について】

<研究主題>「小中教員の協働を生かした『主体的に学習に取り組む態度』を育む授業の創造～児童生徒が単元のPDCAサイクルを意識しながら、意欲的に学習に取り組む授業を通して～」



校内研究の様子

本校では、小学部と中学部の教員が協働して授業をつくることを研究の柱としています。それぞれの立場から意見交換をすることで、9年間の学びの系統性を意識できたり、教科等横断的な視点に基づく柔軟な発想ができたりと、小中一貫教育校ならではの効果が見られます。研究に取り組む中で、普段の授業においても双方の授業を参観する姿が見られ、9年間の学びの在り方について全教員が意識を高めることができています。

【開校10周年を迎えて】

練馬区で初の小中一貫教育校として開校し、令和3年度に10周年を迎えました。今後も、小中一貫教育校としての使命を自覚し、次の10年へ向けて本校の取組を発信し続けていきます。

小中一貫校教育に関する

Q&A

Q1 小中一貫教育を実践している小学校に入学すると、小中一貫教育グループの中学校に進学しなければならないのですか。

A1 通学区域の指定や学校選択制の利用により、小中一貫教育グループ以外の中学校にも進学することができます。

Q2 どの小中一貫教育グループでも同じような小中一貫教育を行うのでしょうか。

A2 それぞれの小中一貫教育グループが、中学校区の特色や実態、課題を踏まえた学習指導の改善や生活指導の充実を図っており、全校が同じ取組を行っているわけではありません。

Q3 1つの小学校からいろいろな中学校へ進学する状況で、どのように小中一貫教育に取り組むのですか。

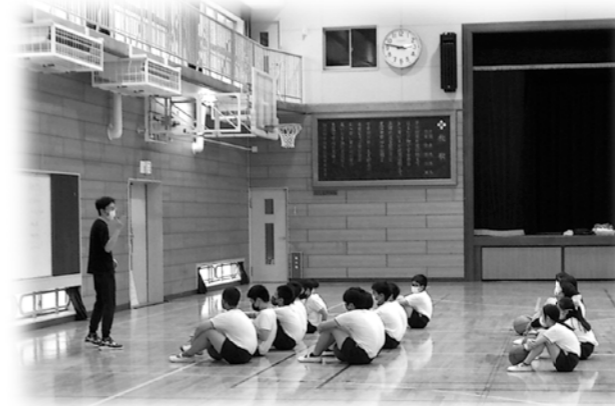
A3 中学校1校と近隣の小学校1～3校で取組を進めています。各グループが実態に応じて「目指す15歳の姿」を設定し、その実現に向けた教育活動を行っています。また、知的障害特別支援学級では、設置校を4グループに分けて研究や実践をしています。

Q4 同じ中学校へ進学するのに同じ小中一貫教育グループの小学校から進学する子どもとそうでない小学校から進学する子どもがいると、学習状況に差が生じてしまうのでしょうか。

A4 各小学校の状況に応じた取組が行われますが、学習指導要領に準拠して小中一貫教育を進めますので、学習内容や進度に差は生じません。

ねりまの

小中一貫教育



中学校での体験授業(小学生)



小学校での校区別協議会研究授業



小学校へのビデオレター作成(中学生)



中学校での部活動体験(小学生)

授業改善による

学力・体力の向上

連携指導による

豊かな人間性・社会性の育成

滑らかな接続による

安定した学校生活

練馬区の小中一貫教育校、全小・中学校では、「小中一貫教育グループにおける『目指す15歳の姿』の実現に向けた取組の実践・研究」「いじめ防止や不登校の解消など豊かな心の育成に向けた取組の実践・研究」を重点取組とし、9年間を見通した意図的・計画的な指導の充実や、子どもの自己肯定感や学習意欲の向上を図っています。

小中一貫教育の取組事例

令和3年度は、2つの重点取組を設定し、タブレット端末や教室のICT機器等を活用して、小中一貫教育を推進しました。

【重点取組1】「目指す15才の姿」の実現に向けた取組の実践・研究

15歳までに身に付けさせたい資質・能力を具体化し、義務教育9年間を見通した連続的・系統的な指導の充実を図っています。

【重点取組2】いじめ防止や不登校の解消など豊かな心の育成に向けた取組の実践・研究

子どもたちに豊かな心を育む取組を重点とし、実践・研究を進め、いじめや不登校等の防止につなげています。

小中を見通したキャリア教育

豊浜中学校グループ（豊浜中学校・旭町小学校）

小中を見通したキャリア教育を通して、目標をもち計画的に生活できる力を身に付けます。キャリアパスポートを活用して、自分の将来について考え、計画的に課題解決に取り組む力を育成しています。

旭町小学校	
第4学年	10才の自分・未来の自分
第5学年	最高学年の準備をしよう
第6学年	自分を見つめて、卒業に向けて
豊浜中学校	
第1学年	職業調べ、職業体験
第2学年	上級学校調べ、ライフプランニング
第3学年	進路学習、卒業研究

キャリアパスポートは、小学校第1年から中学校第3学年まで、学期や行事ごとに目標を立て、自らの活動を振り返り、記録していくものです。学年を超えて、小学校から高校まで引き継いでいき、系統的な学習を進めています。

中学校2年生のキャリア教育の1つとして、民間企業から講師を招いて、「ライフプランニング」を実施しています。1年後の高校受験だけでなく、高校卒業後の進学・就職等やその先の結婚や家庭生活など、自分の将来の人生全体について具体的に考えます。

この授業をきっかけに自分の将来の夢を見つけ、その実現に向けて、高校や大学に進学し、努力を続けている卒業生がたくさんいます。

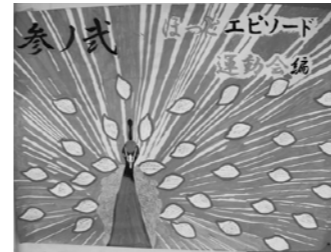


ライフプランニング（中学校）

自己肯定感を高める活動「ほっとエピソード」

八坂中学校グループ（八坂中学校・八坂小学校・豊浜小学校）

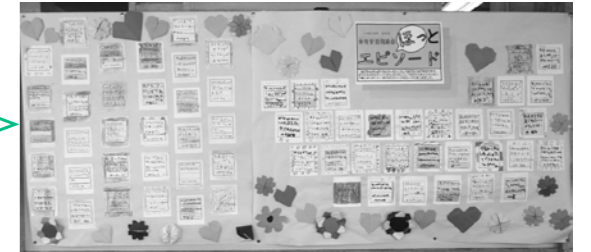
学校行事の取組で見つけたクラスの仲間の良いところをメッセージカードに記入し、1枚にまとめます。中学校で行っていた取組を、今年度は八坂小学校でも行いました。子どもたち同士が互いを認め合うことで、自己肯定感が高まっています。



ほっとエピソード（中学校）

体育学習発表会で、あまりうまくいかなかったけど、友達に「自分のベストをつくせばいいよ」と言われて、自信ができました。（小学校）

運動会での放送とっても良かった！毎回聞きやすく放送してくれるから、本当に助かっているよ！（中学校）



ほっとエピソード（小学校）

「いじめ」をテーマとした道徳授業

上石神井中学校グループ（上石神井中学校・上石神井小学校）

小学校・中学校ともに、「いじめ」を共通テーマとした道徳の授業を実施しました。小学生が最初に自分たちで考えた後、中学生の意見を読み、改めて自分の考えを振り返る機会を設けました。自分では気付かないことに気づき、新たな視点で考えを深めることができました。

<5年生の最初の考え>
一人一人がいじめをしないように心がける。いじめをしている人をみんなで止める。

<中学生の意見を読んだ後の考え>
「いじめられている人」に寄り添うという考えが中学生の意見の中であって、本当にその通りだなと思った。いじめられている人に注意するだけではなくて、いじめられている人に寄り添うことも、いじめの被害をなくす方法の一つなのかなと思った。

中学生が小学生に答えるオンライン質問会

練馬中学校グループ（練馬中学校・練馬小学校・高松小学校・春日小学校）

「来年の入学に向けて小学6年生が中学1年生に聞きたいこと」をテーマに、Web会議システムを活用して中学校の勉強方法や定期考査のこと、学校生活などについて紹介した後、オンラインによる双方向の質問会を実施しました。

Q. 勉強はどんなことが難しくなりますか。（小学校）

A. 算数が数学になりさらにレベルアップします。小学校で習ったことを土台としてスタートするので、今のうちに集中して授業を受けていたら、困ることは少なくなると思います。（中学校）

Q. 部活動をやっていて良かったことは何ですか。（小学校）

A. 1つは、上級生と一緒に活動できることです。もう1つは、大変なことでも練習してできるようになると、達成感を得られることです。（中学校）



学校紹介の動画視聴



オンライン質問会